



## 令和7年度 指導・教育計画

教育の内容	期間
交通事故惹起者等教習 (事故・苦情・危険運転再発防止)	通年
運転士教習	年4回
新規採用嘱託運転士教習	適宜
貸切・昼高速担当新任運転士教習	適宜
指導運転士研修会	適宜
避難及び非常口・消火器等使用訓練 ※春・秋の火災予防運動週間	11月or3月
バリアフリー教室	11月頃
運行管理者研修	年1回
運行管理者巡回指導	適宜
営業所巡回指導	適宜
添乗指導及び交差点巡視	通年
事故惹起者・苦情発生者に対する添乗・指導	通年
経験3年未満の運転士に対して添乗等による指導・教育	通年

# 貸切初任運転士に対して行う「安全運転の実技指導」

## 実施した具体的な指導内容

指導事項	指導内容
① 事業用自動車の安全運転に関する基本的事項	過去のバス事故を例に挙げて、バスの事故が社会に大きな影響を及ぼすことを理解させる
② 事業自動車の構造上の特色と日常点検の方法	日常点検における車両の不具合の早期発見に努める
③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するための留意すべき事項	シートベルト装着の必要性を理解させる また乗車したら必ずシートベルト装着の確認を実施する
④ 危険の予測及び回避	常に危険を予測した運転を行う 急ブレーキによる車内事故防止に努める
⑤ 安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法	衝突軽減ブレーキの作動確認、またはオートクルーズ使用での漫然運転防止を指導
⑥ ドライブレコーダーの記録を活用した運転特性の把握と是正	自分の運転状態をドライブレコーダーの記録映像を通して運転の癖や問題点の改善を図る 他の運転者の記録映像と比較し、自分の運転操作との違いを習得する

## 安全運転の実技指導

① 教育時期	貸切運転士選任前 もしくは単独乗務前までに実施 ※ 3～4日間で実施
② 車種区分	大型観光車両(L × H × W) 12.0m × 3.5m × 2.5m
③ 実施ルート	一般道、高速道路(東北自動車道・三陸道) 弘前、角館、三陸方面(市街地・峠道・観光地等) ※ 3～4日間で実施
④ 指導の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車間距離の保持</li> <li>・交差点の通過方法(安全確認)</li> <li>・右左折時のオーバーハング、内輪差の習得</li> <li>・峠道でのエンジブレーキの使用方法</li> <li>・バックする際の基本動作</li> <li>・高速道走行時の注意(速度・車間距離等)</li> </ul>
⑤ 指導者(添乗者)の指導歴	営業所長、営業所副所長、営業所次長 主任運転士、指導運転士 運転経験(10～30年)、指導歴(1～10年)